

NTT労組・退職者の会 大阪支部協会報

大河泉OB

2009年6月15日(通算62号)

NTT労組退職者の会・大阪支部協議会
発行責任者 鷺谷 憲
編集責任者 森川伊津美
〒553-0003
大阪市福島区福島3丁目1-73
コミュニケーションプラザ大阪内
Tel. (06)6451-8100 Fax. (06)6344-9382

安心・信頼・生きがい、あふれる21世紀、みんなと共に

平和・ボランティア学習会

日時 7月11日(土)14:00~17:00
場所 大阪府教育会館たかつガーデン8F
たかつ西部屋研修室(大阪市天王寺区東高津町7-11)
近鉄上本町駅から徒歩約3分
電話 06-6768-3911

参加人数 100名程度
学習内容 14:00 開会
14:05 平和学習会
16:00 テーマ「日本の防災について」
講師 ジャーナリスト 前田 哲夫
17:00 テーマ「高齢化社会に伴って
ボランティア活動が何故必要か」
講師 上田 朋子(あいハート須磨事務局長)

私の戦争体験記(4)



若い人にも読んで欲しい 何かを伝えたい

夷弾が雨敵と落ちて周りが火の海となる中、必死で我が家を守ったこと。そして夜が明けてみると街が焼け野原となつて、あちこちに焼死体が転がっていたことを思い出す。その時の被害は、十四年前の阪神淡路大震災の比ではなく、街の大半が焼失し、数十万人が犠牲となったのである。限られた紙面で、体験したことの全部を書くことが出来ないが、最後に言いたいことは戦争は悲惨なものであり、破壊と人間同士の殺し合いであること。そして二度とこのような体験をしたくないことである。

私は、よくこの隊員の宿所に遊びに行きましたが彼等からは飛行機に乗れない悔しさや、飛行機で敵艦を轟沈する夢を聞かされているうち、つい自分も彼等の仲間気分になり、予科練に行くのが自分の宿命と感ずるようになっていきました。

八月十五日の終戦で予科練もなくなり、失望やら安堵やら複雑な思いをしたものでした。予科練に行くと、昭和二十年三月十七日、神戸大空襲で焼夷弾が雨敵と落ちて周りが火の海となる中、必死で我が家を守ったこと。そして夜が明けてみると街が焼け野原となつて、あちこちに焼死体が転がっていたことを思い出す。その時の被害は、十四年前の阪神淡路大震災の比ではなく、街の大半が焼失し、数十万人が犠牲となったのである。限られた紙面で、体験したことの全部を書くことが出来ないが、最後に言いたいことは戦争は悲惨なものであり、破壊と人間同士の殺し合いであること。そして二度とこのような体験をしたくないことである。

紙面より

- 会員のひろば.....1~2面
- 交流集会模様.....2面
- 先輩三人を偲んで.....3面
- イベントのお知らせ.....3面
- ブロックだより.....4面
- 会員の動き.....4面
- 支部協の動き.....4面

戦争のない国づくりをめざし 二〇〇八年度平和行動

子供たち孫たちに引き継ぐ、平和な世界、戦争のない国づくりをめざし、現・退一致で見て、聞いて伝えるをキーワードに、次代の世代へ伝えることを目標として大阪支部協としての二〇〇八年度の平和行動の取り組みを意思統一しました。ご協力をお願い致します。

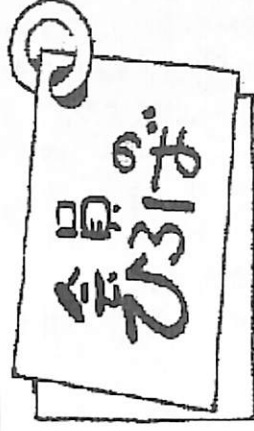
- 参加にあたってはボランティアを基本とします。
- 沖縄、広島、長崎への行動に参加します。
- 三地域各各一千羽以上の献鶴するため三千羽以上を目標とした折鶴運動を展開します。
- ① 二〇〇九年沖縄ピースステージ
日程 六月三日、二五日
行動 連合集会(予定)
- ② 広島ピースフォーラム
二〇〇九

- 参加にあたってはボランティアを基本とします。
- 沖縄、広島、長崎への行動に参加します。
- 三地域各各一千羽以上の献鶴するため三千羽以上を目標とした折鶴運動を展開します。
- ③ 第二十回長崎平和フォーラム
日程 八月八日、九日
行動 中央協の行動に参加します。
- 平和・ボランティア学習会の開催(左記)

戦争が如何に残虐か 吉田次男(泉州)

六十四年前あの忌まわしい第二次大戦は、軍部の独走が「パールハーバー」で始まった。戦中・戦後今日まで生きて来た一人として「戦争が如何に残虐か」を語りたい。当時小学生でしたが物資はすべて配給制でノート一冊買つても配給キップを持てなければ買えないとか、又早朝から弁当箱を持って食べ物屋さんの前で行列、一

会員の方々から私の戦争体験記第4弾と、全国交流集会参加者から感想等の投稿をいただきました。



定数のご飯が売り切れれば、幾ら早く並んでも買えないから、その日朝食は代用食で飢えを凌ぐ悲惨な日々であった。終戦一年前から、拡張する軍用道路疎開を容易にする道路など造るため立ち退き、空襲激化で学童疎開などが有無なしの命令が発せられる状況であった。今でも目に焼きついている大阪駅前から見える風景は、B29から落とされた焼夷弾の絨毯爆撃で、阪急ビル、中郵便、さらに四ツ橋の電気科学館以外は焼け野原であった。

強制疎開から親の田舎に帰つてから暫くして終戦となつたがその生活は、少しばかりの田畑で出来る季節の食料のみで暮ら出来れば五分五分の麦飯芋が出ればそれを食し、飢えと空腹に耐える毎日であった。今思えば想像出来ないことも判らないが歴史は繰り返されるといわれている。未

戦争は破壊と 人間同士の殺し合い 石田善章(泉州)

終戦から早や六十四年、戦争があったが遠い昔のようには思えない。現在の日本は、平和そのもので、物は豊富で、食べ物は捨てるほど有り、ぜいたくな時代になってきている。しかし我々が過ごした戦時中では、とても考えられなかつたことである。主食の米は配給制であり野菜類は、空き地や道路を畠にして、自給自足の生活であった。物資の不足で、お金を出しても自由に手に入らなかつた時代であった。このような中、昭和十九年頃の太平洋戦争は、アメリカ軍の反撃により、戦況が不利になって日本各地が空襲を受け焦土化していったのである。当時、中学一年



であった私は、国のため学徒動員として西門右にあった川崎航空機工場に働いていた時に、B29爆撃機の集中爆撃を受け、その脅威を目にしたのである。長時間に亘る空爆が終わった後、工場に戻ってみると、広大な工場が見る影もなく完全に破壊され、何ひとつ残っていない。その時が印象に残っている。その時、我々が避難していた防空壕の近くにも一ト爆弾が炸裂し、その爆発の凄まじさと思ひ来ない程の爆風に襲われて死ぬ思いをしたこと。そして、この二ヵ月後の昭和二十年三月十七日、神戸大空襲で焼夷弾が雨敵と落ちて周りが火の海となる中、必死で我が家を守ったこと。そして夜が明けてみると街が焼け野原となつて、あちこちに焼死体が転がっていたことを思い出す。その時の被害は、十四年前の阪神淡路大震災の比ではなく、街の大半が焼失し、数十万人が犠牲となったのである。限られた紙面で、体験したことの全部を書くことが出来ないが、最後に言いたいことは戦争は悲惨なものであり、破壊と人間同士の殺し合いであること。そして二度とこのような体験をしたくないことである。

予科練に 行かずにすんだ 山本光春(北摂)

昭和二十年、私の家は高知県西部の志和という急峻な山と海に囲まれた集落にありました。当時私は中学二年で高知市内に下宿し、週末に志和に帰る生活でしたが、七月四日の空襲で焼け出されてからは学校は行かずに殆ど志和にいました。沖縄戦が終わり本土決戦が始まった頃、海軍の特攻隊員数人が志和に駐留して来ました。彼等は予科練の出身で、土佐湾を一望できる山頂で見張りをし、敵の艦船が襲来すれば須崎の本隊に連絡し、自身も二丁板のモーターボートに爆弾を積んで体当たり攻撃する任務だったそうです。

◆いよいよ梅雨の時期となりました。お互いに健康には気を付けなければなりません。今年になつてから亡くなる会員が非常に多く淋しい限りです。特に身近な人が逝去されたのは大変なショックを受けました。私の大先輩の岡本知明さん、柴田範幸さんそして退職者の会大阪支部協議会前事務局長小林 保さんと引き続いて亡くなられてしまい愕然としました。お三方のご冥福をお祈り致します。

◆すでに下火になりましたが、世界的大流行となりました新型インフルエンザ、特に兵庫、大阪府下の患者に死亡者は出ませんでした。が、電車に乗っているとマスクを着けている人が八割近くおられマスクしていないと変な目で見られている感がしました。これからは、秋から冬にむけて流行しないか心配になります。

◆この四月下旬から取り組みました共済生協の「変更するしないの意思表示に関する封書の返送が電通生協から支部協へ送られてきました。

その振り分け作業を田伏副会長を中心に各ブロックから動員をおねがいして取り組んでおります。七月の下旬になれば変更を希望する人へ「申込用紙を送付しますが、速やかに返送して頂くようご協力をお願いします。

外地での戦争体験 記憶を辿りて

陶山 見代子(なにわ)

私は終戦前満州(中国東北部)大連市に住んでいた。大連中央電話局で電話交換手(軍専用)として勤めていた。昭和20年8月9日当直の夜仮眠中、階上の交換室がたたならぬ様子、駆け上がったと見ると30台近い交換台の上に布団を乗せて非常事態に備える物々しさ。交換台のランプは急を告げる如く点滅していた。ブレストで順々に応答するも、北満の都市とは通信不能、ハルビン、牡丹江は既に火の海の状態。友人の一人は「牡丹江の姉と話中、こちらはもう火の海、逃げる、さようなら」と叫んで電話が切れたと泣き出した。もちろんB29がこの地まで空襲にきたものと、思っ恐怖を感じた。ところが明け方になって不可侵条約を結んでいるソ連が日本に対し、宣戦布告をしたことを知る。まだ年若い私も憤りを感じた。昭和20年8月15日、無条件降伏(天皇の玉音放送)涙が出た。

8月23日凄まじい音と共に、ソ連軍が戦車を先頭に進入して来た。野戦の兵連で殆ど囚人と聞いた。見るからに凶暴そのものであった。それから局舎をソ連に明け渡す事となり、日本人の恥にならない様床、廊下、洗面所、トイレを隅から隅まで磨いた。ボイラー室で重要書類を燃やすのか、真夏にスチームが勢いよく吹き出し、私は汗みどろになりながら作業した。帰りはソ連軍を避ける道を選んてやと我が家へ帰った。治安が整うまでの間、父は7人家族を護るため、両手に木刀を持ち、玄関に施錠をして不審番をしてくれた。引揚船が来るまで2年6ヶ月日本から遺棄されたのでは無いかと不安が募る。22年2月信洋丸で佐世保に入港、山の緑が涙でかすんだ。故郷の広島駅頭に立つなり父が「ウォッー」と慟哭した。広島は一面の焼け野原、福屋のデパートがぼつんと望められた。今でも父親の男泣きした姿は、忘れることが出来ない。

二度と戦争をするな
今川 清(河内)
昭和十六年に京都市桃山国民学校へ入学したが、その十二月八日に大東亜戦争(第二次世界大戦)が勃発した。そして生活用品は配給となり、お菓子は一月に森永ミルクキャラメルが一箱であった。米は二合五勺で一ヶ月に三十日分はくねなかった。大根を細かく刻んで炊いたご飯や雑炊、それもやがてジャガイモやカボチャなどが代用食となった。

戦争が始まり三年もすると米軍B29爆撃機が毎日のように日本上空を飛ぶようになり、学校防空頭巾を持参して登校した。また、都会の学校では集団疎開や縁故疎開が実施されたが、幸いにも私の学校は田舎なので疎開することはなかった。伏見の町には陸軍十六師団があり、歩兵から工兵までの多くの連隊があつたので、京阪電車の藤の森駅は「軍団前」と呼ばれていた。現在でも「軍人湯」という銭湯が残っている。

戦争もたけなわとなり、大阪が空襲されるようになって京都でも、警戒警報のサイレンが鳴り、登校していても自宅に帰り、警報解除になると登校することが何度もあった。

京都は一度も空襲されることはなかった。爆撃の怖さを知らないが、大阪が大空襲されたときには、その煙で京都は夕闇のようになつたのを覚えている。

国が兵器を製造するために金属回収をするようになり、お寺の鐘から家庭で使っている鍋釜鉄火鉢窓柵などまで拠出した。そして多くの人たちは軍需工場へ徴用され、中学生や女生徒までもが学徒動員され、町には年寄りや婦人しかいなかった。五年生の夏に広島と長崎に原子爆弾が投下され、多くの人々を犠牲にした。そして戦争は終わった。

『もうこんな戦争は絶対にするな！』

交流集会模様

交流集会でとり

石田 禮子(北摂)

五月十三日、十五日にかけて全国交流会に参加させていただきました。不安と期待を胸にいざ熱海へ。一日目は講演会等々。血流を良くする為に使わない筋肉の体操を教えてくださいました。役立ちました。二日目は講演会と一番の課題である分散会です。『魅力ある退職者の会にするために必要なことは何か?』課題の討論会です。北海道から沖縄までのブロック委員の方々のお話を聞きました。やはりどの所でもイベント等の集まりが同じ人にかたまってしまう。役員のみ手がない電友会と退職者の会と一緒にしないか等々。こういうことをしていますと言うのは、新聞に「会員不参加」の人達の記事を載せる家族を含めての交流。バス旅行など地域ごとに配車をする。職域ごとの班組織、色んな意見がだされました。最後は交流会でとりをとおと前河内音頭を踊り盛り上がりました。

十万人会とともに

櫻井 和好(泉州)

今年の交流集会は、泉州二名、北摂、なにわ、河内より各一名での参加となりました。全体集会では、中央協から退職者の会の概要と課題について報告あり、主要な要件は次の通りで、組織化等の問題点が説明されました。

①現在の会員数十万三千名弱②会はNTT労組からのスト基金運用益より二億五千万円の支援金により活動③団塊の世代退職者一万人が七年続くこと。

民主党衆議院議員、郡和子さんより年金や高齢者医療制度の改革について、今民主党が進めている改革が説明されました。又、小沢問題にも触れ、参加者との議論の中では、献金事件の説明責任のあり方について、多くの方から責任が果たされていないとの意見がでました。分散会でのテーマは、昨年と同じで、五つの分散会で各支部協からの意見がされましたが特に①現在、契約社員の方を「会」に入会させるにあたり、預託金五万円の扱いはネックにもなっている。②五万円を退職時に先取りして「会」への入会予約をしていた。③共済金の戻りで「会」への入会を勧める等の意見が出ました。

私は①退職前の現役組合員へ「退会」のデビルとして、NTT労組新聞、各支部労組の機関紙にも「退職者の会」の各支部協が行っている元氣な活動を掲載することにより「会」への入会や発展に繋がること。②「退職者の会」の中での、シングルシニアの現状と交流のあり方についての提起をしました。

交流全体懇親会では、「トリ」を「河内音頭」にする旨、髙谷会長自ら中央協へ言ていただきました。



いただき、集会恒例の「河内音頭」を美人かしまし娘三人と共ににおに盛り上げ、参加者のみなさんに喜んでいただき、最高の交流となりました。九月の大阪総会に向けて、大デビルができました。来年は、ぜひあなたも参加して、元氣をいただけてください。最後に大阪支部協より参加いただいた皆さんに感謝申し上げます。おきき。

支部協をしつかりPR

尾崎 八生(なにわ)

緊張と期待で胸を膨らませ、いざ熱海へ。ホテルに百五十名が集合。その規模には圧倒されるものを感じました。

一日目は健康管理士の小久保晴代氏の講座で、その日の疲れはその日のうちに解消をテーマに、あまり使われていない関節や筋肉の運動の実技を交えた講演を楽しみ、受けることができました。

二日目の午後から五つの分散会に分れ、魅力ある退職者の会に必要なことは何か?をテーマに討論しました。各支部協の活動内容や行事を夫々の思いを込めて発表。我が大阪支部協ももちろんPR。特にホームページを

立ち上げている支部協は少なく、更新もなかなかスムーズにいかないようです。大阪支部協の内容の充実と速報性は、かなり誇れるものだと感じました。どの支部協も悩みは共通したものがあり、会員の拡大、参加会員の固定化が上がりました。そして、改善するために、会報や配布物の手配り、声掛け、お元氣色々と工夫を凝らし取り組んでいるが、進展しないとの声が多くありました。それに比べ大阪支部協の組織力は大きなものを感じました。懇親会では、今や恒例になった河内音頭でファイナル。髙谷会長の唄に合わせ、ハッピー姿の五人衆と大勢の参加者で会場一杯を練り踊り、大盛況で終えることができました。

有意義な時間を与えて頂き、ありがとうございました。

退職者ハッピー健在なり

青木 育夫(泉州)

今回「退職者全国交流会」に泉州ブロックから2名参加しました。交流集会に参加して一番強く感じた事は、全国から出席された皆さんの元氣な事、元氣な事。特にPR。特にホームページを

に七十歳を超えた方々の「かくしやく」とした行動力でした。この現役と変わらないパワーでもって各地域において、会員相互の親睦、生活向上等に活躍されていることに心強さを感じました。そして、六十歳代はまだまだ若造なりと…。

健康講座として、健康管理士による家の中で気軽にできるストレッチ運動を体験しました。機会があれば会員の皆様にもお勧めしたい運動です。その他年金制度の講演等、最新の情報が得ることが出来、有意義な時間を過ごす事が出来ました。

ハッピーの三日間

小野 美枝子(河内)

二泊三日熱海での全国交流集会、胸を高鳴りながらの参加でした。冒頭、内堀中央協会長より、今年度の共済加入促進、雇用と就労自立支援カンパ、核廃絶への署名等、当面する課題の協力要請から始まり、目的にそって今回の交流集会を楽しんで、夜も楽しんで交流を深めてほしいと挨拶があり、何故か優しい言葉に聞かせて心が楽しくなりました。

二日目、分散会は自己紹介から始まり、ブラダグス、胡蝶蘭、フルマラソン等多趣味満載で驚き、ここにも元氣で楽しんでいる様子がありました。場が少し和んで今回のテーマ「魅力ある退職者の会にするために何が必要か、各支部協からは多面的な工夫や、策を講じながら悩みを解消する努力の報告等の中、会員拡大を考える為には機関紙や会報の有効

活用、魅力ある活動のひとつ「いきいき講座」を会員にとりては有益な軸になる事、ホームページ開設は、かなりの反響があると報告し、各支部協にもホームページをとPR、又、中央協にも開設してほしいと要望し無事分散会は終了。夜は、中央協の計らいでハッピーを身にまとい髙谷会長の生声で河内音頭を、多くの方が踊り一色の和になつて盛り上がりました。踊りも好評、ハッピーも好評で、ハッピーハッピーの楽しい三日間でした。ありがとうございました。

核兵器廃絶を求める
1000万署名

核兵器廃絶の1000万署名用紙を次号会報送付時に同封しますのでご協力をお願いします。

愛のキャンパ
5月末現在
77,5000円 479名
ご協力有難うございます。

岡本さんの理念である「平和、人権」では「ピースおおさか」の理事長として大阪大空襲で亡くなった方々の碑を建てられ戦争の悲惨さと平和の尊さを訴えられました。

大阪総評では戦線統一を目指して同盟との交流を積極的に行い、連合結成に大きく寄与されました。

岡本さんの思い出はありますが、忘れられない事件として主造事件があります、一九六六年春闘の時に当時の国鉄の始発列車を止める任に当たり動員した組合員全員で主造駅に入ってきた列車のドアが開まらないように身体を張って阻止していましたが官憲の導入で十六名が連行されましたが、岡本さんは自ら責任者として逮捕され十日間に及ぶ尋問にも黙秘を続け官憲による組織介入を最小限に食い止められました。温厚な人柄とは違い心の強い先輩でした。

岡本知明 先輩

岡本知明さんは二〇〇八年一月二五日前立喉がんで逝去されました。生涯労働運動と「平和、人権」に尽くされてこられました。全電通は大阪中電支部の委員長を初め近畿地本の書記長、副委員長を歴任され大阪総評で事務局長、議長と重責を荷なつてこられました。教々の思い出はありますが、忘れられない事件として主造事件があります、一九六六年春闘の時に当時の国鉄の始発列車を止める任に当たり動員した組合員全員で主造駅に入ってきた列車のドアが開まらないように身体を張って阻止していましたが官憲の導入で十六名が連行されましたが、岡本さんは自ら責任者として逮捕され十日間に及ぶ尋問にも黙秘を続け官憲による組織介入を最小限に食い止められました。温厚な人柄とは違い心の強い先輩でした。

大阪総評では戦線統一を目指して同盟との交流を積極的に行い、連合結成に大きく寄与されました。

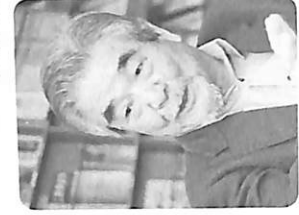
岡本さんの思い出はありますが、忘れられない事件として主造事件があります、一九六六年春闘の時に当時の国鉄の始発列車を止める任に当たり動員した組合員全員で主造駅に入ってきた列車のドアが開まらないように身体を張って阻止していましたが官憲の導入で十六名が連行されましたが、岡本さんは自ら責任者として逮捕され十日間に及ぶ尋問にも黙秘を続け官憲による組織介入を最小限に食い止められました。温厚な人柄とは違い心の強い先輩でした。

先輩三人を偲んで

大阪支部協議会 会長 鷲谷 憲



小林 保 前事務局長



柴田範幸 先輩



岡本知明 先輩

わたくしたちNTT 労組の大先輩であると同時に大阪労働界の重鎮であられた、「岡本知明」と「柴田範幸」さんのお二人が、お亡くなりになりました。大阪の労働運動にとつて大きな衝撃と失望を与えています。さらに大阪支部協議会・事務局長として支えてこられた小林保氏の突然の訃報に接しました。先輩のお三方は退職者の会の活動について影のないうるようになって指導、ご支援を頂き大変お世話になりました。今はただただご冥福を祈るのみですがどうか安らかに眠りください。

柴田範幸 先輩

柴田範幸さんは二〇〇九年四月一日くも膜下出血で逝去されました。全電通労働組合が一九六五年昭四十年の春闘で半日の全員のストライキを敢行されました。公労法でスト権が認められていない中でのストですから相当な勇気と決断がいりました。その時の中央執行委員で組織部長として指導されたのが柴田範幸さんでした。

その後電公社からスト参加者十六万人に対して不当処分が出され前代未聞のマンモス訴訟を起こし、裁判闘争と職場では激しいバルザン闘争で不当処分撤回闘争を指揮されました。

全電通労働学校団結の家が一九六九年開設され副校長として組合員活動家の育成、教育に尽力され今も多く卒業生が活動しています。当時からの明快な理論と実行力が全電通の運動の発展と労働戦線の統一に生かされてきました。

一九七二年に近畿に戻られてからは近畿地本の書記長、委員長を歴任され連合大阪の結成に力を注がれ初代事務局長から会長として労働者の団結強化と労働組合の社会的地位の向上に大きく貢献されました。

小林 保 前事務局長

小林保前事務局長が五月十五日急逝されました。昨年の第十回総会で事務局長を退任され十八年間の役員生活から開放され自宅でのんびりとされていましたが、現役当時の疲労が重なり時々体調不良を訴えるようになられました。しかし、根が元気で健康でしたから病院にはいかず、いずれ回復するだろうと辛抱されておられたようでしたので、病気が進行したのではないかと心配です。病名は腫瘍炎だそうです。

大阪支部協事務局長の八年間は、本当によくこまめに且つ的確に会長、私を支えていただきました。同時に、役員、面談見がよくなりました。信頼されておられました。事務局長を退任後は河内ブロックの顧問としてご指導をお願いしていた矢先のことで残念でなりません。支部協に賜りました数々の指導、業績に感謝申し上げます。今はただご冥福をお祈りするのみです。

イベントの申込受付は6月22日(月) 10時から 電話で大阪支部協へ ☎06-6451-8100

社会見学「花王和歌山工場」

7月3日(金) 雨天決行
集合時間 午前8時20分 集合・出発
集合場所 JR大阪城公園駅 45名
募集人数 3,500円(会員外4,000円)当日、受付にて受領します。なお7月1日以降はキャンセル料をいただきます
参加費 6月30日(火)午後4時まで
申込締切 貸切バス利用
行 程 大阪城公園駅前⇒花王和歌山工場(見学)⇒和歌山マリーナシティ「50種類のバイキング」の昼食⇒津波防災教育「浜口梧陵記念館」見学⇒大阪駅前(午後6時30分ごろ)
その他 健康保険証(写)を持参ください
当日の連絡は 080-1445-1363 松田 中矢
090-7490-7138 中矢
河内ブロックがお世話させていただきます

納涼天神祭り懇親会

7月25日(土) 雨天決行
開催場所 曽根崎新地「鳥よし茶屋」 梅新お初天神正面東側
大阪市北区曽根崎2-1-9
開催時間 午後6時00分(時間厳守)
受付時間 午後5時30分(鳥よし茶屋入口)
募集人数 60名程度
会費 6,000円(会員外7,000円)
申込締切 7月8日(水)午後4時まで
その他 参加者には別途「案内状と振込用紙」を送付します
なによりわブロックがお世話させていただきます

淀川花火観賞とお食事会

8月8日(土) 雨天決行
時間 18時~20時30分
開催場所 コミュニティプラザ大阪6階鶴・亀の間
募集人員 50名
会費 3,500円(会員外4,500円)
申込締切 7月6日(月)午後4時
その他 コミュニティプラザ大阪の都合により中止する場合があります。なお、中止も含め申込者には別途案内をさせていただきます
北摂ブロックがお世話させていただきます

JASSくらぶだより

JASSくらぶとは、日本セカンダリライフ協会の略称です。企業退職された方々が素晴らしい第2の人生を送られるようにと、首都圏、中京圏、近畿圏で年間約3000回のイベントやサークルを開催している厚生労働省認可の社団法人です。NTT 労組退職者の会は中央で法人会員になっています。

イベントとの主な内容は

- ◆工場見学・博物館見学・発電所見学等
 - ◆文学散歩・沿線探訪・古寺めぐり・史跡探訪等
 - ◆落語鑑賞会・観劇・野球観戦・経済講演会
 - ◆ハイキング・ゴルフコンペ・ボーリング・テニス・卓球等
 - ◆写真・書道・俳句・木彫り・刺繍・囲碁・将棋・カラオケ等の各種教室
- その他色々なイベントがあります。詳しい内容は「JASSネット」の冊子に掲載しています。有料ですが、支部協に若干準備がありますので興味のある方には無料で送付します。

ただし、部数に限りがあります。

恒例の落語は繁昌亭・7月1日(火)・8月12日(水)・9月4日(金)

月例島之内寄席・7月25日(土)・8月29日(土)・9月26日(土)

第24回 囲碁大会 結果

大阪支部協第24回囲碁大会は、5月22日10時からコンボ大阪で参加者20名において盛大に開催しました。大会終了後、大盤を用いて平山8段より実戦形式の説明を受け好評を博しました。

A級 優勝 森川 耕一 準優勝 遠山 富雄
B級 優勝 森川 利三郎 準優勝 小嶋 義雄

NTT労組環境統一行動 グループ連絡協議会だより

大阪グループ連絡協議会 事務局長 小迫 修

NTT 労組全グループ連絡協議会による「環境保護」をテーマとしてそれぞれの地域特性を活かした全国一斉行動が中央本部より提起され、大阪グループ連絡協議会としては、これまで「愛の家」への設立経過を踏まえ、日常的な継続性のある取り組みとして「愛の家」の各種行事(夕涼み会・運動会・餅つき)等の手伝い・介助について周知と参加のボランティア活動へ積極的にかかわってきたことから、「NTT 労組環境統一行動」の一環として、地球温暖化・環境問題を意識した取り組みを実施することし、特に「愛の家」のグラウンド(運動場)を芝生化することで、雑草の育成を抑え、利用者が安心して運動が行える環境づくりに地域のコミュニティとしての活用などを目的に、継続的な緑化の維持にむけた体制作りを含めて検討を深めてきました。具体的には5月23日(土)「愛の家」緑化大作戦」を実施し、関西各地に蔓延しつつある新型インフルエンザをも吹き飛ばすような元気な皆さん(退職者の会からも8名を含む64名)が集まっていた。当日参加できなかった皆さんも、園内の雑草刈りに汗を流しました。芝生のメンテナンスや園内清掃を実施していくこととしておりますので見学を兼ねてぜひご参加ください。

星のまち「かたの」の七夕まつり

交野市には七曜星(北斗七星)降臨伝説や羽衣伝説、七夕伝説が伝わっています。宇宙銀河を連想する天野川が市内を流れ、枚方市を経て淀川に注ぎ、流域では毎年、七夕祭りが盛大に催されていますので、その一部をご紹介します。

<天の川七夕まつり>

天野川沿いの1.5キロの会場に竹灯籠1千基、和紙灯籠4千個が点灯され幻想的な雰囲気があります。竹灯籠は里山に茂る竹を間伐し作製、笹飾りもビニール製を使用せずに、チラシやポスターなどを再利用し、環境に優しい取組をしています。竹の伐採から灯籠作り、飾りつけ、点灯、後始末までを地域住民とボランティアの人たちの協力で行われます。

<機物神社(はたものじんじゃ)七夕まつり>

棚機姫(たなばたひめ)を祭神とする神社で、境内に立てられた数多くの大竹笹に願い事を書いた短冊が吊るされます。テレビニュースで時々放映されます。

<星田妙見宮七夕まつり>

御神体は妙見山頂(石段223段)にある織姫石(おりめいし)で、七夕にゆかりの地であったことが分かります。参道には竹笹飾りが立てられますが、子供達や高齢者施設からも多く寄せられます。

夜の9時になるとすべての笹飾りが境内の広場に集められ、皆の願いが星まで届けと大焚上げ祭が行われます。

七夕まつりがこうして催すことができるのも、近隣住民とボランティアの人々の理解と献身的な協力・活動によるもので、いつまでも地域文化として引き継ぎたいものです。

今年も7月7日に七夕まつりが開催されますので、皆さんのお越しをお待ちしています。私の短冊には願いを込めて「退職者の会会員の皆様が、いつまでも幸せでありますように」と書きましょう。

河内ブロック委員・奥村忠弘

雑

感

退職して以来、二十三年が経過しました。年齢も八十歳を超えました。今までは、肺がん及び胃がんを罹患し、入院・手術等を行っていた、その都度、体調管理には悩まされて来ましたが、医療関係機関各方面(医師)からの指導・アドバイス等を頂き、自分自身の頑張りと努力の甲斐あって、現在では、体調・体力的にはさしたる支障もなく、回復の兆しを見せ、日々元気に過ごさせて頂いておられます。その元気な源は、月に何回かのコミュニケーションプラザへ出向き、旧友と出合い語り合える事が出来ることです。そして、好きな囲碁を出来るだけ多くの人との手合いで、楽しく打たしてもらっています。死ぬ生きろは人生のならわしではあるが、囲碁の世界ではそれが基本です。何かわかったような、わからないような事を考えながら、ヘボ碁を楽しんでいます。また、出来る限り、戸外に出て体の維持管理にも努めています。



大阪支部協の動き

6日	・河内花見バスツアー	14日	・支部協会計監査
7日	・全国ブロック会議(香川県)編集委員会(pm)	16日	・河内ブロック委員会
8日	・G連会計監査	17日	・カルチャータウン講座(水墨)
10日	・(am)事務局会議	20日	・北摂ブロック委員会
	・カルチャータウン講座(水墨)	21日	・全国交流集会打合せ
	・(pm)第6回幹事会	22日	・平和担当者会議
11日	・あいハート須磨花見会	24日	・生協学習会(常駐者)
	・JASS(グランドG)	25日	・なにわブロック委員会
13日	・(am)いきいき講座班長&副班長会議		・ボランティアセンター南河内定期総会
	・(pm)いきいき講座	27日	・泉州ブロックバスツアー(世界遺産)
	・グル連幹事会		

ご冥福をお祈りします

久保 正寛	2008年7月6日	西村 兼也	2008年11月6日
玉田 節子	2008年12月6日	村田 弘	2009年3月3日
中西 清	2009年3月24日	前田 豊	2009年4月2日
柴田 範幸	2009年4月11日	堀田久美子	2009年4月20日
小林 保	2009年5月15日	川端 弘乙	不明

人の動き

平和の千羽鶴を献鶴しに行ってきます

■沖繩	6月23日～25日	源 勝子	廣道 襄
■広島	8月5日～6日	辻林正好	中井千恵
		林 良次	福西輝男
		山田忠夫	廣道 襄

芝生化された愛の家運動場

毎年、草刈に悩まされてきた愛の家運動場が、5月下旬芝生張りが完成しました。泉州ブロックとしては、ブロック委員のカンパで記念植樹した、11本の「さくら」が4年目を迎え「さくらとともに」を合言葉にした維持・管理のボランティアが継続しています。芝生の管理作業はさくらの比ではなく、大変な作業となりますが、現役とともに「いつでも、好きな時に、できるだけ」のボランティアを併せて実施していきます。

- ・毎月第1月曜日は愛の家、第3金曜日は工房みさき
- ・午前10時～12時 終了後食事会のパターンで実施中。

小さな力でも多人数となれば、大きな力になります。みなさんの参加をお待ちしています。 泉州ブロックHP <http://www13.ocn.ne.jp/~sensyuob/>



なにわブロック



- ★なにわブロック・グラウンドゴルフ愛称「なにわ会」は、発足して早や4年目になります。会員は16名で毎週・土曜日の10時～12時まで。JR京橋駅の近くにある「京橋ふれあい広場」で練習しています。草地あり、土壌あり、多少の起伏ありとバラエティーに富んだフィールドで、楽しく、和気藹々とやっています。
- ★大阪支部協議会には、河内ブロック同好会・北摂ブロック同好会・泉州ブロック楽遊会と、総称「友遊会」として、年1回・ブロック持ち回りの一泊グラウンドゴルフ大会を開催しています。今年は、5月18日(月)～19日(火)第5回大阪支部協「友遊会」グラウンドゴルフ岡山大会(湯郷温泉付近)を泉州ブロック楽遊会担当で開催されました。
- ★6月2日(火)は、第5回大阪支部協議会グラウンドゴルフ万博大会が開催されました。団体戦・個人戦とあり、なにわ会からは11名が参加し、健闘しました。
- ★まだ先の話ですが、11月の土曜日に「友遊会主催「なにわ会担当」で、日帰りグラウンドゴルフ大会を「京橋ふれあい広場」で開催予定しております。別途打ち合わせのあり、ご案内致します。
- ★「なにわ会」では、手軽に楽しめ、会員の皆さんとの親睦・交流を図れるスポーツとして募集しております。一度遊びに来てください。お待ちしております。

連絡先：大橋 善一 TEL:06-6322-4885
携帯：090-2594-5443
短歌 2首 五月山 ハイキングにて 香川 重光
五月山 緑の山や さわやかに 眺めすばらし 弁当うまいわいわいと 歩け歩け 楽しい出掛け 五月の山に

住まいの相談センター

住まいのことは“大阪労生協”より分離独立した当セイキョウホーム近畿にまづご相談ください。

住まいのメンテナンス

ドアの修理から、段差の解消手すりの取り付けなど住まいの気になること、なんでもご相談ください。

耐震診断・耐震補強も
おまかせください。

リフォーム特典

お見積・建物診断
無料

水まわり製品の
割引

アフターサービス
保証

不動産の売買

売り物件求む！無料査定、買取もいたします。

◆お電話は

0120-6-11502

セイキョウホーム近畿